



一般財団法人  
日本リトルシニア中学硬式野球協会関東連盟  
WWW.KANTOLEAGUE.NET

# 茂原リトルシニア野球協会 令和6年度（28期生）入団説明会資料 **”夢と希望と感動を！”**

- ◆ 一般財団法人 日本リトルシニア中学硬式野球協会 関東連盟 東関東支部南千葉ブロック所属 ◆
- 令和6年1月7日（日）  
令和6年1月14日（日）  
時間：9時～16時頃まで  
場所：茂原リトルシニア野球場

## ■リトルシニアの目指すもの

(財)日本リトルシニア中学野球協会は、野球を愛する中学生に対し、野球を正しく指導し、その体力向上とスポーツ精神を養い、チームワークを通じて団体生活の強調を知り、判断力を高め、青少年同志の交歓の場を与え、友情を向上させるために組織された国際的なスポーツ団体です。

2023年4月末現在、全国に7連盟あり、そのうち関東連盟には213チームが加盟しています。茂原リトルシニアは関東連盟東関東支部南千葉ブロックに所属しています。

中学生の硬式野球団体には他にボーイズリーグ・ポニーリーグ等の組織があり、日本ではリトルシニアが最大の組織で関東では殆どの地区に所属チームがあります。

2017年には、増加傾向にある女子選手を対象に新たにgirls championship大会を設け、高校や女子プロを目指す女子選手の受け皿となっています。

また、国際大会にも積極的に参加しています。「国際野球連盟 (IBFA)」が主催する「AA世界ユース選手権大会」へ日本中学硬式野球5団体から選手を選抜して出場しています。その他、MCYSA全米選手権大会 (米国) ・日台対抗国際野球大会、台北市国際野球大会などにも選抜チームを派遣しています。

このように、リトルシニアでは「野球を楽しむこと」「高校野球に近づく高いレベルでの野球」を目指しています。少年野球を終了した小学生の皆さんには、そのまま更に高いレベルの野球が続けられ、これから野球を始めようと思われる人には一から野球の基礎を学ぶことができます。

## ■指導目標・方針

- 1 明るく・礼儀正しく・思いやりのある選手の育成
- 2 自分の考えをしっかりと持ち、はっきり自分の考えを言える選手の育成
- 3 心・技・体、バランスのとれた、リーダーシップを発揮できる選手の育成

## ■卒団後の主な進路（順不同）

### ◆高校

#### 【私立】

日大三高校 東海大甲府高校 木更津総合高校 東海大市原望洋高校 千葉経済付属高校 志学館高校 東海大浦安高校 拓大紅陵高校 横芝敬愛高校 千葉商科大付属高校 東京学館浦安高校 千葉黎明高校 千葉明德高校 市原中央高校 敬愛学園高校 茂原北陵高校 千葉学芸高校 桜林高校 遊学館高校 明聖高校 ほか

#### 【公立】

市立船橋高校 市立習志野高校 銚子商業高校 千葉商業高校 一宮商業高校 東金商業高校 茂原樟陽高校 長生高校 成東高校 茂原高校 大原高校 東金高校 大多喜高校 土気高校 九十九里高校 ほか

### ◆大学

立正大学 国際武道大学 千葉工業大学 敬愛大学 千葉商科大学 清和大学 城西国際大学 松陰大学 日本大学 流通経済大学 帝京平成大学 東邦大学 東海大学 日本体育大学 ほか

## ■2023年 指導体制

監督 渡邊 好一

コーチ 片柳 穎作、寺尾 夏輝・古作 優樹ほか

	年度	会長	事務局長	監督	主な戦歴と沿革		
1	1999年(H11)	佐瀬 晃	野崎	渡辺 清久	茂原リトルシニア発足		
2	2000年(H12)						
3	2001年(H13)		松崎 克己	寺尾 幸男			
4	2002年(H14)				千葉日報杯3位		
5	2003年(H15)				フレッシュマン大会 準優勝		
6	2004年(H16)				マイナー大会 準優勝 秋季千葉ブロック大会6位 東関東支部大会進出		
7	2005年(H17)				寺尾 幸男 大羽澤 一雅	マイナー大会4位 関東連盟夏季大会ベスト32(出場185チーム)	
8	2006年(H18)				大羽澤 一雅		春季千葉ブロック大会5位 東関東支部大会進出 産経新聞杯 準優勝 秋季千葉ブロック大会5位 東関東支部大会進出
9	2007年(H19)						春季千葉ブロック大会9位 東関東支部大会進出 長南町に専用球場完成(現在使用のグラウンド)
10	2008年(H20)						創部10周年(記念式典)
11	2009年(H21)	相沢 仁 新会長就任					
12	2009年(H21)	佐瀬 晃 相沢 仁	山口 光則	大羽澤 一雅	秋季大会よりブロック予選制廃止、東関東支部(千葉・茨城)でオープン大会制導入		
13	2011年(H23)	相沢 仁				東日本大震災の影響で春季大会中止 千葉ブロック細分化、千葉南ブロック所属となる	
14	2012年(H24)						
15	2013年(H25)					創部15周年	
16	2014年(H26)						
17	2015年(H27)	篠崎 省三				レフト側にバッティングゲージ完成 金子 健一 新会長就任 秋季大会東関東支部予選突破 関東大会進出	
18	2016年(H28)						
19	2017年(H29)	金子 健一	大羽澤 一雅	渡邊 好一	創部20周年(記念式典)		
20	2018年(H30)				台風15号・19号によりグラウンドに被害		
21	2019年(R1)						
22	2020年(R2)						
23	2021年(R3)						
24	2022年(R4)						
25	2023年(R5)				創部25周年		
26	2024年(R6)				めざせ全国大会出場		

## 茂原リトルシニア新入団員ガイダンス

### 1 入団時期

- 本日から入団届の受付を開始します。
- 通常、所属するチーム（団体）の日程終了後となります。  
\*必ず、お世話になった所属チームの代表・監督さんには入団の意思を報告してからお願いします。
- 入団後の学校行事・前所属チーム行事は優先してください。
- しばらくの間は体験・仮入部でも構いません。納得してから入団してください。
- 入団届の受付後、連盟への登録及び保険加入の手続きを全員行います。

### 2 諸費用

- 入会金 10,000円（入団申込書・住民票又は市町村が発行する健康保険証（本人確認できるもの）を添付）
- 月会費 8,000円
- ※兄弟が既に所属している場合は半額。ただし、兄弟の所属重複期間のみ適用します。
- 父母会費 令和5年度3,000円／家族（変動・変更あり） \*ご不明な点は父母会へお気軽にご相談ください。
- 積立金 1,000円（遠征時のバス代等）

### 3 個人の道具の整備

- 事前に道具（特にグローブ等）は揃えないでください。今まで使用していたもので構いません。
- 練習試合用ユニフォーム・セカンドバック等はチーム指定品があります。（入団後まとめて採寸・注文します。）
- バットはチーム所有をご利用ください
- その他の道具につきましても、格安にて提供できる地元スポーツ店を紹介しますのでご利用ください。

#### 4 中学校入学後

- 文武両道...「野球選手である前に学生である。」学生の本文は学業であることを重視し、スポーツと学業の両立は勿論のこと、学校生活や日常生活についても各家庭と協力しながら指導します。
- 学校の部活動...リトルシニアの活動は基本的に土曜・日曜・祝日です。学校の方針により全員部活動への参加を求められることがあります。シニア活動に支障にならない様にご配慮願います。入部時にシニアの活動を優先させる旨を必ず顧問に了解を得る必要があります。できれば団体スポーツよりは個人スポーツの方が理解されやすいと思います、軟式野球部との掛け持ちは怪我・障害等の原因になるのでお控え頂いております、スタッフ等にご相談ください。
- 学校行事...優先してください。
- 学習塾...大半の選手が塾に通っていますが、活動に支障がない曜日・時間帯を選択してください。
- 進学相談...3年生になりましたら随時面接等を行い、進路決定しています。入団時から目標を高く設定し、日々取り組むことで、活動意欲やモチベーションの継続に繋がります。3年間頑張った選手は全力で応援します。

#### 5 ご父兄の協力について

- 父母会...当協会には父母会があります。選手の入団にあわせて父兄の方々には父母会への入会をお願いしています。父母会はチーム・選手をサポートするための組織です。役割分担等を話し合いで決め、ご協力を頂いています。
- 環境整備...定期的にグラウンド整備や周辺環境の整備等にご協力頂いています。
- 審判の手伝い...当協会には審判部はありますが、練習試合等は父兄の方にご協力を頂いています。審判講習会等もあり、経験は問いませんが、経験者の方はぜひご協力願います。

## 6 その他

- 茂原シニア専用球場...平成19年（2007年）長生郡長南町豊原のこの地に完成以来、当協会の本拠地として、公式戦はもとより練習試合等に使用されるなど、選手育成の場として欠かせないものとなっています。設備についても年々充実しています。
- 協会スタッフ...当協会に属する役員、監督、コーチなどのスタッフは全員ボランティアです。
- 一般財団法人日本リトルシニア中学野球協会が定める「コンプライアンス指針」を遵守します。
- 必要な安全対策を講じ、練習中の事故防止に努めてまいります。
- 青少年健全育成...「チームづくりは、人づくり」技術指導に特化することなく、指導目標・方針を重視しながら人材（選手）育成に努め、社会に通用する人材を輩出することが最終目標です。

\* ご不明な点が御座いましたら、お気軽にスタッフにお尋ねください。